

令和4年度 第1回 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 議事録

開催日時	令和4年9月15日(木) 午後2時～午後3時30分		
開催場所	西尾市役所51会議室		
出席者	【会長】		
	日本福祉大学	国際福祉開発学部教授	千頭聡
	【副会長】		
	NPO 法人やらまいか人まちサポート	理事長	牧野明広
	【審議会委員】		
	西三河農業協同組合	常務理事	黒野善久
	連合愛知三河中地域協議会	西尾地区連絡会 議長	小林英明
	株式会社キャッチネットワーク	取締役専務執行役員	天野栄
	西尾商工会議所中小企業相談所	所長	蜂谷佳夫
	西尾信用金庫	常務理事	樅山幸彦
	西尾市観光協会	専務理事	森隆司
	【事務局】		
	総合政策部秘書政策課	課長	藤井己代秀
	総合政策部秘書政策課	主任主査	山崎高志
	総合政策部秘書政策課	主査	都築典恵
	総合政策部秘書政策課	主事	原田英典
【交付金対象事業関係者】			
交流共創部観光文化振興課	課長補佐	下村幸成	
交流共創部スポーツ振興課	課長補佐	倉谷和成	
交流共創部スポーツ振興課	主事	林達也	
産業部商工振興課	課長補佐	石川哲	
欠席者	【欠席者】		
	西三河漁業協同組合	総務部長	稲垣志乃武
矢田つぼみ保育園	園長	黒木洋子	内容
<p>1 開会及びあいさつ 秘書政策課長よりあいさつ</p> <p>西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会規則第5条の規定により、千頭会長の進行で議題に入る。</p> <p>2 議題 西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策の令和3年度取組状況について 事務局より説明 〈会員からの主な意見〉</p> <p>【黒野委員】 バラ園について、公園として整備し、市民がバラと触れ合える場所を造ってはどうか。</p> <p>【事務局】 農水振興課にお伝えします。</p>			

【縦山委員】

基本目標2のKPIについて、図書館貸出カードの登録率（18歳以下の子ども）の算出方法と、令和2年の登録率があれば教えてほしい。

【事務局】

担当課に確認し、後日連絡させていただく。

【小林委員】

にしおマラソンを実施した際の反省点に関して、どのように次年度以降改善していくのか。

【事務局】

2022年度は実施せず、皆様からの意見を踏まえコース等も検討し、2023年度中に開催できるように準備を進めている。

【蜂谷委員】

基本目標1のKPIについて、国内トップレベルの大会開催数は、令和3年度の3大会はどのような大会が開催され、また令和7年度の目標値4大会はどのような大会を想定しているのか。

【事務局】

令和3年度は、バレーボールが2大会とバスケットボールが1大会の合計3大会が開催された。令和7年度の目標値については、令和4年度に総合体育館の観客席を増やすことに伴い、卓球のTリーグやバスケットボールのBリーグを誘致していきたいと考えている。

【蜂谷委員】

商工会議所としても、トップレベルの大会を誘致して活性化をしてほしいと考えている。また、そのためにはハード面での整備も必要となるため、令和7年度ということではなく、長期的に整備して行ってほしい。

【森委員】

基本目標1のKPIについて、外国人宿泊者数（吉良温泉）となっているが、全体を把握する必要があるため、吉良温泉を対象にするのではなく、市内全体を対象に変更したほうがよいのではないかと。

また、余談だが国内トップレベルの大会を誘致していく機関が西尾市にはない。観光協会も一端を担うかもしれないが、官と民で連携しながら先を見据えて、誘致していく役割を担う部署も必要ではないかと。

【事務局】

KPIの見直しについて、今後の参考にさせていただく。また、誘致のために官と民が連携していく必要性については、市の官民連携の担当に伝える。

【天野会員】

基本目標1のKPIについて、ワーケーションプラン利用人数が令和3年度1人×2日とあるが、その詳細はどのようなか。プランを作り行政主導で誘致しているのか。

【事務局】

大々的に行っているのではなく、現状は担当する部署が関わりのあるところから試験的に行っている。1人×2日については、佐久島の弃天サロンの利用で、新型コロナウイルス感染拡大の影響により積極的に進めてはいないが、今後は対象施設を拡大してPRしていきたい。例として、大島公園にテントサイトを設置することで拡大をしていくことを検討しているということは聞いている。

【天野委員】

観光だけではなく仕事の間としての佐久島も魅力があり、佐久島だけでなく他の場所についても魅力があるため、色々な形でワーケーションが進んでいけばよいと思う。

【縦山委員】

人口動態について、人口減少が速過ぎると思うが、これに対する市の施策はどのようなか。

【事務局】

企業誘致を始めとした雇用の場の創出、上横須賀駅周辺を整備して住めるような受け皿を整備するなど、段階的に進めていき、中長期的に見て今よりも伸び率が上がっていくような施策を行っていく。

【牧野委員】

基本目標2の生涯学習拠点施設整備事業について、生涯学習施設の利用率は低いため、生涯学習だけにこだわらずに、市民の望む施設を調査しながら方向性を示して進めてほしい。

【事務局】

議会においても、生涯学習施設については利用率が低いため、多機能性も必要ではないかとの議論があるが、生涯学習センター（仮称）については、多機能型になるということは聞いている。関連する話として、幡豆の公民館についても文化的なものに用途を変更し、柔軟に対応していくとも聞いている。ご指摘いただいた柔軟な視点は重要だと考えている。

【千頭委員】

地方創生推進交付金を充当している事業について、総合戦略の推進に寄与しているのかどうかを確認したい。質問等はあるか。

【縦山委員】

健康ツーリズムについて、ツアーを組むのは委託か。

【事務局】

観光協会に委託している。

【千頭委員】

抹茶やうなぎを使用しているが、アンケートで西尾らしさが足りないとの指摘があるが、これについての対応はどのようなか。

【事務局】

西尾らしさというのは、健康に対する西尾らしさというものであり、それに対しては、フラダンスやヨガも検討しているが、本年度はウォーキングをしながら抹茶を自分でたてて飲むことで健康になるようなことを考えている。

【縦山委員】

トンボロ干潟の駅伝とも関係しているのか。

【事務局】

トンボロ干潟から三ヶ根山を登り、抹茶を自分でたてて飲んでいただくということを検討している。現在の観光では、抹茶に対する敷居を低くするため、茶道とは関係なく自分で抹茶をたてて飲んでいただくことが必要と考え、その方向性で取組を行っている。

【天野委員】

にしおマラソンについて、キャッチとしてもいろいろな方からの反響もあり、手応えがあったと把握しているためお伝えしておく。反省点もあったとのことだが、引き続き行っていただきたい。

【牧野委員】

にしおマラソンについて、反省点が色々あったかと思うが、コースについて旧西尾市街地が必要であったのか。西尾らしさである自然を生かすためにも、旧幡豆郡3町をメインとしたコースのほうが観光誘客も見込めてよいのではないか。

【事務局】

ご意見として承ります。

【千頭委員】

それでは、この地方創生推進交付金を充当している事業は、総合戦略の推進に一定の効果が得られるということでしょうか。

【委員一同】

一定の効果がある。

【千頭委員】

総合戦略の改訂について、新規追加事業についての意見はどうか。

【蜂谷委員】

eスポーツ事業は、先取りで頑張ってもらいたい。

【樺山委員】

eスポーツの対象者層はどのようなか。

【事務局】

観光文化振興課が進めている事業のため、観光客誘致をまずは対象としている。一方でいろいろな側面からSDGsにつながる効果がある。最終的には大会を誘致できるように考えていきたい。

【千頭委員】

事業の中に多文化共生等という記載をしたことに関して説明してほしい。

【事務局】

現在取り組んでいる一色高校において、外国人と日本人とが一緒に溶け込んでやっていくということを、eスポーツというツールを使って試みていることが背景にある。

【蜂谷委員】

普通のゲームのイメージか。

【事務局】

普通のゲームのイメージで、どのゲームが盛り上がり、仲良くなれるか、交流ができるかを踏まえて、市でも実験をしてeスポーツの活用方法を検討している。

【蜂谷委員】

方向性を間違えずに、皆が溶け込みやすいよう進めてもらいたい。

【小林委員】

危険箇所のLINE通報機能追加事業について、西尾市はLINEを使用した事業を進めていくことになると思うが、高齢者に対するアプローチは考えているか。

【事務局】

現状も高齢者向けのスマホ教室を実施しており、現在策定中の総合計画においても、デジタルデバイドの解消ということで、不慣れな方も取り残さないようカバーし広げていくことで、高齢者も簡単に利用できるよう対策を進めていく。

【樺山委員】

西尾市はLINE登録者数が多いと思うが、町内会行事を町内会単位で発信する仕組みを作ると溶け込みやすく、情報発信の効率もよいのではないかと思う。

【牧野委員】

賛同する話ですが、西尾市のeスポーツの進め方として、多世代の方との交流というプロセスを経て、最終的には大会誘致という流れはすごくよいと思う。LINE配信についても、必要としている情報を必要としている人に直接伝えることができるということもとてもよい。LINE公式アカウントと市の防災アプリとも連携して、自分の欲しい情報が手に入るようになるとさらによいと思う。eスポーツとLINEの取組はとても評価できる。

【千頭委員】

書かない窓口システム導入事業についてはどうか。

【蜂谷委員】

マイナンバーをうまく使ってやっていくということか。

【事務局】

スマホをかざして、マイナンバーで本人確認して窓口業務を行うということ、来年度から行うというもの。各種証明のスマート申請については、今年度9月から実施している。

【蜂谷委員】

新しいことが始まるということが、市民の間にも何となくは浸透していると思う。

【森委員】

観光資源を生かしてワーケーションということであれば、佐久島にこだわる必要はなく、エリアを広げてもらいたい。また、Wi-Fi環境を市内に整備していると思うが、30分に1回切れてしまうという現状であるため、今後色々な方を受け入れるためには環境を整える必要がある。また、多言語への対応など、インバウンド目線での事業も総合戦略に記載して欲しい。

【事務局】

ワーケーションを佐久島だけでなく市内全域に拡大していくことは必要であると考え。また、インバウンド目線の事業については今後の検討課題とさせていただく。

【縦山委員】

企業版ふるさと納税の実績はどうか。

【事務局】

企業版ふるさと納税の昨年度の実績は10万円で、学校のICT化に使用させていただいた。今年度は佐久島の関係で寄附をいただいた。企業版ふるさと納税については、昨年度から受け入れが可能となったことから、職員にもあまり浸透していない。今年度は関係課の職員に対しての説明会や、内閣府のマッチング会の視聴などに参加し、職員一丸となって取り組んでいる。また、名刺サイズのチラシを作成し、市長始め幹部職員が企業を訪問する際に名刺と一緒に配布し、職員一丸となって寄附の獲得を目指している。

【縦山委員】

個人のふるさと納税については、西尾市民が西尾市に寄附できるのか。

【事務局】

寄附はできるが返礼品をお渡しできない。企業版については、市内に本社がある企業は寄附できない。

【縦山委員】

企業版については、目的を指定できるのか。

【事務局】

企業版については、総合戦略に記載された事業に対して寄附を受けられるため、記載された事業を中心にアプローチしていく。

【千頭委員】

個人のふるさと納税について、市外から入ってきている分と、市外に出て行っている分はどのようか。

【事務局】

令和2年度から黒字化している。令和2年度は約3千万円の黒字で、令和3年度は5億円を超える黒字となり、直近5年間で実質的な収支は3億を超える額の黒字となった。

【千頭委員】

今回の議題は、総合戦略の進捗管理と、内容をより充実させていくという改訂でした。事務局から何か連絡事項はあるか。

【事務局】

今後の予定としましては、市長を始めとした西尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部会議で、本日の審議会の結果を報告させていただきますのでご承知ください。

【千頭委員】

本日の意見等をまとめて、資料として皆に配布してほしい。

【事務局】

承知しました。

【千頭委員】

それでは本日の審議회를終了します。